

アジア・太平洋地域の水管理は抜本的変革が必要、 ADBの黒田総裁が水サミットで

【別府、12月4日】アジア開発銀行（ADB）の黒田東彦^{はるひこ}総裁は4日、当地で行われていた「[第1回アジア・太平洋水サミット](#)」でスピーチを行い、「私達は水に対する考え方を変えなければなりません。経済的、社会的開発のあらゆる面を加味した、より広い視野でとらえる考え方へと」と述べ、持続可能な未来のために、アジア・太平洋地域の各国は水資源の管理方法を根本から変えなければならないと訴えた。

アジア・太平洋地域には、安全な飲み水へのアクセスをもたない人々が6億人、衛生施設に対するアクセスがないか不十分である人々が20億人いるとされ、ADBは、水資源の管理はきわめて重要な喫緊の課題と位置づけている。

エネルギー、食料、環境および産業に関する政策はすべて水と密接に関わっている。一方でこれらの分野の政策は、人口動態の変化、技術・通信の発展、グローバルゼーションや自由貿易といった外部要因によっても、同じく影響を受ける。

この点について黒田総裁は、「ミレニアム開発目標(MDG)に向けて、そしてそれを超えて持続可能な未来を築くために、水に関する様々な要因を総合的に検討すべき」とした上で、強い政治的意志と、現実に即した前向きな行動を呼びかけるとともに、国、地域、世界の各レベルにおいて、水の問題をより高い優先課題とする必要性を強調した。

同総裁はまた、計画と運営を適切に行えば、アジア・太平洋地域の水の問題は大半が解消できると指摘、個々の解決策はその国の状況によって様々に異なるだろうが、幅広く応用される基本的原則があるとして、

- ① 水と水に関連する社会、経済、環境的要因に関する信頼性の高いデータへのアクセス
- ② 政府、民間セクター、市民団体等による強固な協力関係

Media Inquiries
Tsukasa Maekawa
T: +63 2 632 5840
M: +63 918 939 9059
E-mail: tmaekawa@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org
ADB web site: www.adb.org

- ③ 水質の維持管理
- ④ 新しいスキル、アプローチ、発想を取り入れた能力育成を挙げた。

A D Bは、水はアジア・太平洋地域の全ての人々のものであるという観点から開発途上加盟国の取り組みを支援しており、地方農村部や都市部、河川流域において資金支援、改革、能力開発のプログラムを展開する「[ウォーター・ファイナンス（水融資）・プログラム](#)」を通じて、水関連の投資を大幅に増加させることとしている。また、本水サミットへの貢献事業の1つとして、11月29日に「[アジア水開発展望](#)」報告書を発表し、現在及び今後の水に関する問題を分析し、問題解決のための政策提言をしている。

Media Inquiries

Tsukasa Maekawa
T: +63 2 632 5840
M: +63 918 939 9059
E-mail: tmaekawa@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org
ADB web site: www.adb.org